

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話(呼) 一〇三八番
編集発行人 丸山幸夫
印刷 丸山印刷所
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四円
一四

七日間ストの余波 山神祭も遂に延期

擴大闘争委員会で決議

炭券常磐地方協議會第五回擴大闘争委員会は二十二日労働會館で二十四組代表が集まつて行はれた結果二十三、二十四のB級波状ストをすまして明二十五日一番方から七日間スト(百六十八時間)に突入する事にしこれが爲四月十六、十七の三日間行はれる山神祭を一ヶ月間延期する事を決議したが今度のスト決行に就ては常磐ろう組も同調する事になつてゐる

今度の争議は

ヤマの労働者達も不満

七日間スト通しのスト決行又識者に於てもこうした長という常磐のヤマが開かれ期にわたるストは考えもので以來始めて見る、ろう働だと語つてゐる
争議に就ては中、小炭礦では實際に共倒れとなるおそれがある、この程度の長期決行がたとえ中團の指パン協同組合東北北海道指令にせよ應じかねると騒い、ロック會議は去る十八日飯でる小山もある程で成行は坂町花水館で小笠原農林委員に目されてゐるが殊に山神祭を迎えて開かれたがわが祭執行を一ヶ月も延期するの食糧事情は今後パン食常磐ろう組が明二十五日か實に九千六百万圓の損害となどは年に一度の厳肅なヤに依存する事が多くこれが一週間ストを断行するとなるが去る十四日から三日の祭典を争議の具に供し普及は必至であり同時にパンの祭典を争議の具に供し普及は必至であり同時にパンの出炭減はまぬかれず場を焼失して五千万圓以上井村大宇赤井宇下炭原地内の官有林から出火約一町歩

パン食の普及

チースは家庭でも

常磐炭礦損害 一二月で一億圓

選炭場焼失とストで

新學區制による初の高校入色々と注意を受けていた。學試験は二十五日縣下一齊戦前のような試験地獄は現にその幕が切つて落され明出しくとも各校共百名に二十六日終了するが平市内の落伍者の出る事は間違の各高校でも小さき胸をいがないので生徒よりも親父兄や先生方或は母や姉にればよいか」と不安顔でい付添はれて學校につめかける。

小さな胸をいたため 高校入試始まる

生徒より先づ親が不安

健康教育の 傳達

卅日郡下各校長に

郡下各小、中、高等校、校長會は来る三十日石城地方二十五年度山林施業案を全事務所會議室で開き健康教育面的に編成するため石城地方に關する傳達(來年度より事務所林務課では来る四月各がく校に於ては健康教育月五日より三日間全所會議育科目を設置、年間七十四室に於て縣より石井技師を時間内に於て教育する)及び招き編成測量技術を必要とび過般花巻町に於て開催する希望者全所職員各關係れた中、高等がく生に對し團體職員を招集して講習會職業指導の傳達が行はれを實施する

ウシのセリ市

来る二十九日平市鎌田町の岡田牧場で牛のセリ市を開くが石城地方事務所畜産課の調査によれば出場頭数は大体百二十五頭に達する

母親學級修了式

平市内小學校(一、二、四)に於ける社會學級母親修了式は今日二十四日行はれたが式は今二十四日行はれたが勿來第二小では明二十五日行

草野村のボヤ

昨二十三日午後八時二十分頃草野村宇泉澤字前原の農業組合購買部(責任者鈴木長壽さん)の家屋より出火したが机等焼いただけで直ちに鎮火した

赤井の山火事

昨二十三日午後一時半頃赤井村大宇赤井宇下炭原地内の官有林から出火約一町歩

配給便り

市では二十四日から三日間家庭用石けんを配給一人一個で値段は十圓七十錢

平市人事

飯島正秋さん三男正知ちゃん杉平九

愛読者のK生と

いう人から次のような投書があつた。本欄を通じ御紹介する。

高壓線電柱移轉に就て

會社がわ平市案を呑み、さすがは大會社の大胃袋

草野の父、岡部先生在職二十八年にして、きょう惜別の一句を賦して去る。スト組心中恒惘たるものないか。

近村の合併に農民組合は鬼門と、平市長、飯野神谷兩村長共に節分の豆まきを忘れたか。

飯野、神谷は反對署名運動、平は受入態勢の市會、こゝにも二つの世界

炭券傘下のストで減炭二万六千余トン、お蔭で會社がわ貯炭が減つてホク

◇ゴム類専門店◇
横山商店
平市三丁目
電 九 四

牛豚肉
TEL323

病は辛いもの...
切らずに癒る評判のクスリ
一度お試し下さい
薬品と塗料各種
阿部薬舗
平市銀座通り

(6) 電産は廿五日一般需要家に對し十分間の停電スト、對象は國民大衆、稚氣愛すべし。
(7) 專賣公社平出張所の二月中の販賣実績郡山管内随一、とニコチン患者もまた随一なり。

